

～「令和3年度全国学力・学習状況調査」の結果について～

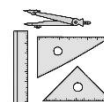
河内長野市立西中学校

《基本的な考え方》

本調査については、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」と文部科学省の目的にあります。これらを含めて、本校では、次に挙げるような成果が期待されると考えております。

○子どもたちは、それぞれの学習の到達状況を知ること、学習意欲を高め、自ら目標を持って今後の学習の改善や励みになる。

○学校は、自校の状況をより詳細に分析することで、子どもたちの確かな学力及び教員の指導力・授業力の向上につながる。



《調査結果の取り扱い》

今年度も全国学力・学習状況調査の結果と分析を提供いたします。

◇本調査により測定できるのは、学力に限られた一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。すべての学力を捉えられているものではないことに十分留意して取り扱うことが必要です。

◇学校は、「子どもにどのような力がついてきたのか」「学校がどのような教育を進めているのか」「子どもの学習状況や生活習慣等にどのような良い点・課題があるのか」など、一人ひとりの学力向上の取り組みの改善とともに、学校における課題を整理して、課題改善する取り組みを進めていきます。

《お願い》

□学習への意欲は、子どもの自尊感情と大きな関係があります。友だちやきょうだいと比較することは、意欲を低下させる場合があります。今回の結果からお子様の伸びや課題を知り、まずはお子様の良いところを褒めてください。その上で、課題について頑張って克服できるよう励ましてあげてください。そのことがお子様の学習意欲を高めることにつながります。

□学力の向上は学校が主にその役割を担いますが、各家庭におかれましても、今回の結果を子どもたちの基本的な生活習慣の見直しや今後の家庭学習の進め方等の参考にしていただきますようよろしくお願いいたします。

□調査結果のうち、正答率については、調査に参加した子ども並びに保護者の方のみ提供しているものです。学校間の序列化や過度な競争につながらないよう、その取り扱いについては、十分にご留意いただきますようお願いいたします。



学力の概況

現3年生で4月に実施した結果より分析しました。

国語

概況

学習指導要領における領域で、話すこと・聞くこと、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の平均正答率は府比とほぼ同等。書くこと、読むこと、文脈に沿って読み取ることに課題が見られる。

特に成果が見られた問題例

2-2 書いた文章を互いに読みあい、文章の構成を考える。

全国比+6.4 府平均+10.4

4-1 文脈に即して漢字を正しく書く。本校正解率 100 パーセント

全国比+2.7 府平均+2.5

4-4 伝えたいことがらを相手にわかりやすいように書く。

全国比+9 府平均+11.7

学習活動への主体的な取り組みが、大きく寄与している。

特に課題が見られた問題例

3-2 場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する。

全国比-11.9 府平均-10.

3-4 文章に表れているものの見方考え方を捉えて自分の考えを持つ。

全国比-14.1 府平均-9.1 主体的に読む習慣の定着が望まれる。

数学

概況

学習指導要領における領域で、『数と式』や『資料の活用』に関しては、平均正答率は府とほぼ同等である。しかし、『関数』や『図形』の領域については、府に比べて平均正答率は低く、『関数(府より-1.5ポイント)』、『図形(府より-11.6ポイント)』という結果であり課題が見える。評価の観点から見ると府に対して『技能(府より+5.6ポイント)』の高いが、『見方・考え方(府より-5.6ポイント)』、『知識・理解(府より-5.4ポイント)』と言葉の意味を理解することや、それを利用して、考えを記述することが課題と言える。

特に成果が見られた問題例

1 府より+9.8ポイント高い。毎回の授業で5分間の計算プリントを実施している効果が出ていると感じる。

5 府より+8.3ポイント高い。これは、資料の整理の授業を行う際に、ICTを利用したことで基礎的な知識の定着に繋がったと思われる。

特に課題が見られた問題例

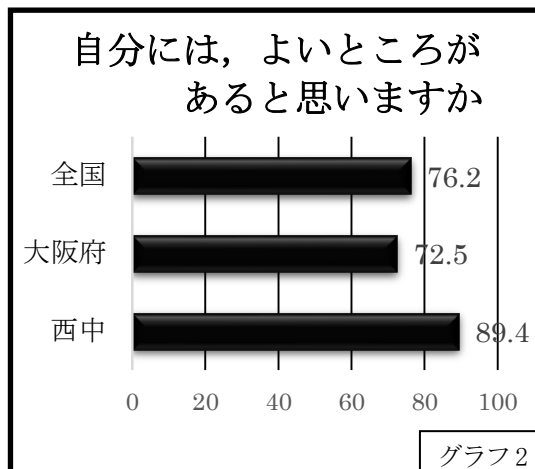
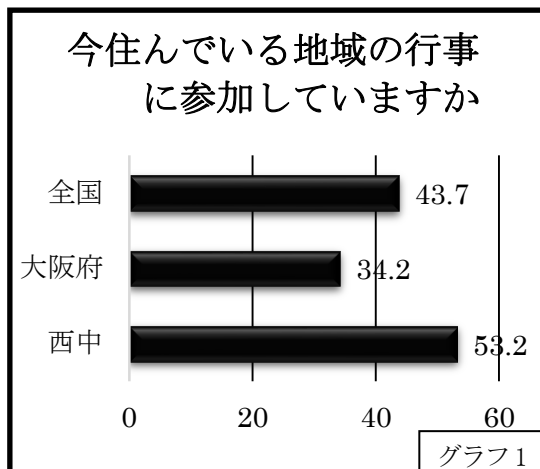
8 府より(2)-5.6ポイント(3)-5.4ポイント

9 府より(1)-8.9ポイント(2)-13.9ポイント(3)-10.2ポイント

知識・技能だけでなく、①長い文章を読み取る力 ②内容の整理をする力 ③文を書く力が必要であると考えられる。

学習状況の概況

生徒質問紙より



概況

- ・ここ数年来のアンケート結果から、西中学校の生徒の特徴として「地域の行事に参加したことがある」という質問に対する肯定的な回答が、継続して府や全国を上回る結果となっている(グラフ1)。このことから、西中校区では、お祭りや様々な地域のイベントを通し、子どもたちは地域とともに育っていることが読み取れる。地域の方々に見守られながら、成長する土壌が整っている校区のよさを、これからも引き続き積み上げていきたい。
- ・「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に対し、肯定的な回答が府や全国の平均より高い結果が出ている(グラフ2)。約9割の生徒が、高い自己肯定感を持っていることは非常に素晴らしいことである。今後も、より多くの生徒が、自分の良さに気づけるよう学校生活を送れるよう支援していきたい。

特に成果が見られたアンケート項目例

- ・携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか
【肯定的な回答】 全国 67.9%、大阪府 68.2%、西中 83.0%
- ・学校に行くのは楽しいと思いますか
【肯定的な回答】 全国 81.1%、大阪府 78.7%、西中 91.5%

特に課題が見られたアンケート項目例

- ・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
※学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む
【学習時間が3時間以上の回答】 全国 26.8%、大阪府 23.9%、西中 19.1%
- ・学校の授業時間以外に、普段(月曜日～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか
※教科書や参考書、漫画や雑誌は除く
【読書時間が全くない】 全国 37.4%、大阪府 46.3%、西中 63.8%

調査結果を受けて

学校が重点的に取り組んでいくこと

① 学校・家庭・地域とのさらなる連携

生徒質問紙の結果にも表れている通り、本校の生徒たちは、地域の中で多くのことを学びながら成長しています。学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育てていくという理想の形を実践できるのが西中学校の最大の特徴です。引き続き、地域の方の協力を得ながら「西中ゼミ」で自学自習力を高め、常に学ぶ生徒を育てる等、地域のボランティアやPTAと共に、子どもたちのより良い成長を目指し、今後もこの特徴を活かした教育活動を実践します。

② 教員の授業力向上

一人一台のタブレット端末が使えるようになり、今までにない学習の形態が模索されています。生徒が機器を道具として活用し、生徒自ら進んで学びに取り組めるように、研修を深めていきます。また、言語活動の充実や主体的・対話的で深い学びの推進を心がけ、より質の高い授業が行えるように研究していきます。

③ 新しい時代を生きる力の育成

Society5.0 時代の到来や、経験したことない自然現象が発生するなど、想定外の事態が起こり得る時代となっています。これからの急激な変化に対応できる、生きる力を持った生徒の育成に取り組んでいきます。

生徒のみなさんにしっかり取り組んでほしいこと

家での時間の使い方について

「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」（肯定 80.8%）、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」（肯定 91.5%）の回答から、多くのみなさんは、規則正しい生活をしていることが分かります。規則正しい生活をすることは、元気な毎日を過ごす第一歩ですので、これからも続けてください。

一方で、改善して欲しいことは、ゲームの時間です。みなさんの半数以上（53.2%）が平日3時間以上ゲームをしています。これは、大阪府の43.5%、全国の32.3%を大きく上回る残念な回答です。ゲームの時間が長くなることで、家庭学習の時間や睡眠時間に影響が出てくることが考えられます。心当たりのある人は、一度、自分の家庭での時間の使い方について考えてみてください。

保護者のみなさまに協力してほしいこと

基本的な生活習慣の定着への導き

起床、就寝に関するアンケート結果は、ご家庭での躰のおかげもあり、先述の通り素晴らしい結果となっています。また、「朝食を毎日食べていますか」の質問に対する肯定的な回答が 95.7%となりました。これらの結果から、多くの生徒に基本的な生活習慣が確立されていることが分かります。引き続き、ご家庭でのお力添えをよろしくお願いいたします。

一方、平日のゲームの時間についてのアンケートで、先述の通り過半数の生徒が1日3時間以上ゲームをしていることが分かりましたが、4時間以上ゲームをしている生徒も 38.3%（全国 16.7%）という回答結果でした。この機会に、お子さまの時間の使い方について確認していただき、一緒に考える機会をもっていただきたいと思います。